

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央 大学

鬼丸朋子 ゼミ

### A パート

1 2

部門番号

部門名 社会政策論

テーマ

教諭の労働問題

現在の教諭は過酷な労働状況にある。文部科学省が行った一週あたりの総勤務時間の調査によると、小学校教諭 55～60 時間未満、中学校教諭は 60～65 時間未満が最も多く、教諭は週 20 時間以上の時間外労働が一般化されている。そして、過労死ラインを超える小学校教諭は全体の 3 割、中学校教諭は全体の 6 割である(文部科学省 『平成 28 年度教員勤務実態調査の集計(速報値)について』)。その上、2016 年の精神疾患による休職者は 4891 人であり(文部省 『平成 28 年度公立学校教職員の人事行政状況調査結果について』)、実際に働きながらも精神疾患を患っている人数はさらに多いと推測される。これらの問題の原因としては、教育相談や課外活動、職員会議など、授業以外にも多様な業務を任されているためと考えられる。それだけでなく、給特法により、教諭は所定労働時間を何時間超えようとも残業代は支払われていない。

上記を踏まえ私たちは、教諭の労働環境の実態を調査した上で、長時間労働の是正や業務の拡大、多様化を見直し、より働きやすい職場にするための案を提案したい。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央

大学

鬼丸朋子

ゼミ

### B パート

12

部門番号

部門名

社会政策

テーマ 我が国の早期離職の現状

サブテーマ 雇用のミスマッチの対策

### 趣意文

2017年9月15日に厚生労働省が発表した新規学卒就職者の離職状況のデータによると、2014年3月の日本の大卒新入社員の三年以内の離職率は、32.2%であり、社会問題化している。早期離職が発生する要因として、企業側が人事権を持っているメンバーシップ型の採用システムによる雇用のミスマッチが考えられる。雇用のミスマッチにより早期離職することは、離職者と企業の双方に弊害をもたらす。離職者側には、早期離職することで所得が低下し、転職が容易ではなくなるといった弊害が生じる。一方で企業側には社員の育成時にあてた時間やコストが無駄になり、新たな人材を採用する際にコストが増加するという弊害が生じる。さらに少子高齢化社会である日本において、社会問題となっている労働力不足を助長し、経済成長の停滞につながる可能性がある。

私たちは、以上の弊害を回避することを目的とし、新規学卒者の早期離職率を低下させるためにどのように雇用のミスマッチを防止するかについて考察していく。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央大学

鬼丸朋子 ゼミ

C パート

12

部門番号

部門名

社会政策

テーマ 女性のワークライフバランスの実現を目指して

サブテーマ 女性管理職の観点から

趣意文

現在日本での女性の就業率は 43.5%(出典:男女共同参画白書平成 29 年)であり、欧米諸国と比べても引けを取らない。過去 4 年間の女性の就業率を見ると 5.3%上昇しており、長期的に見ても増加傾向にある。しかし、「女性の活躍が進んでいるか」を問うアンケートに対して「変化なし」と答えた女性が 5 割を超える(出典:日経ニュースアーカイブ平成 29 年 9 月 12 日)ことからうかがえるように、まだ女性の活躍する社会が実現しているとは言い難い。その原因の 1 つとして、管理的職業従事者における女性の割合が 13.0%と低い水準であることが挙げられる。国が目指す「社会のあらゆる分野で 2020 年までに指導的地位の女性が占める割合を 30%以上」という目標には程遠い。

そこで私たちは女性雇用問題の鍵は女性管理職の増加であると考えた。中でも女性総合職の出産、育児に焦点を当て、長期的に女性管理職の増加を見込むことのできる方法を提案する。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央 大学 鬼丸 ゼミ D

パート

12

部門番号

部門名

社会政策論

テーマ 貧困の連鎖を断ち切るために

サブテーマ 親と子それぞれへの支援から考える

趣意文

現在、日本では、世帯所得が低いほど高校生の4年制大学への進学率が低い（東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター（2007）「高校生の進路追跡調査第1次報告書」より）。幼稚園入園から大学卒業まで家庭が負担する教育費は、最低でも1000万円とされ（文部科学省（2010）「平成21年度文部科学白書」より）、長子が大学に進学する際に家庭の平均貯蓄率がマイナスになる（総務省（2015）「平成26年全国消費実態調査」より）。すなわち、子どもを大学に進学させるには、貯蓄を取り崩さなければならない。よって、貯蓄が少ない貧困家庭の子どもは大学に進学することが難しい。どのような学校段階に進んだかは卒業後の就業状態や所得に影響するため、十分な教育を受けられない子どもは、将来的に貧困になる可能性が高い。

つまり、教育の充実が4年制大学への進学率を向上させることに繋がり、この流れを断ち切ることができる。それによって、先進国の中で高い水準を示す、日本の子どもの貧困率を将来的に改善できる。

以上を踏まえ、現在の教育支援だけではなく、親と子それぞれへの新しい支援により、貧困家庭の子どもの教育を充実させることで、貧困の連鎖を断ち切る手段を考察していく。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央 大学 御船 ゼミ A パート

12

部門番号

部門名 社会政策論

テーマ 高齢化社会

サブテーマ 労働問題

趣意文

私たち御船ゼミ A 班は、今日日本の社会問題の1つとして高齢化が挙げられるがその高齢化が進んでいく中、どのように社会政策していくべきなのか、解決に近づけるよう討論をしていこうと考えている。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央大学 御船ゼミ B パート

12

部門番号

部門名 社会政策論

テーマ 少子化について

サブテーマ 少子化と結婚の関連性

趣意文

私たちのゼミでは少子化をテーマに活動しています。しかし、一言で少子化といってもテーマが広くまとまりがないため、少子化と結婚を結びつけて考えることにしました。晩婚化や結婚しない人の増加。非正規雇用の増加など経済面への不安。待機児童の増加。などの様々な面から結婚と少子化の関連について見ていきます。また、海外の国々と日本の子育て支援制度の違いなどについても考えていきます。